



安全衛生トップセミナー

2025 開催日 11/26 (水) → 27 (木)

会場 新横浜プリンスホテル
(神奈川県横浜市・新横浜駅徒歩5分)

企業を支える安全衛生に強い人づくり

企業のトップ層の方々を対象とし、著名講師陣による経営全般から安全・健康まで幅広い内容の講演と企業の事例紹介による情報を提供。また、参加者間の情報交換を通じての安全衛生のネットワークづくりなど、これからの安全と経営、安全衛生の取り組みの活性化について考える2日間にぜひ、ご参加ください。

情報交換

「経営トップとして日頃抱えている安全衛生管理活動の問題・課題について、様々な企業の取り組みや、自分とは異なった考え方を知ることができた」、「安全衛生管理活動を推進する上でのヒントを得た」と参加者から好評を得ております。

参加を終えた受講者の声

異業種の人たちとの情報交換は新鮮で、新たな気づきやヒントが得られ大変参考となった。特に安全活動に対する悩みは共通であるところが多く、実施事例などを聞いて参考になった。

自社の安全活動を見返す良い機会となった。

安全管理、リーダーシップ、人材育成など即実行に移せるアイデアを沢山いただいた。日々の安全活動に取り入れ安全な職場を目指していく。

主催：中央労働災害防止協会
<https://www.jisha.or.jp/>

全ての働く人々に安全・健康を
～ Safe Work , Safe Life ～

JISHA
Japan Industrial Safety & Health Association

講演

ヒューマンファクター的視点 による安全対策

●講演内容：どの事業所も事故が発生しないよう日々努力しているなか、無事故を継続している事業所もあれば、なかなかうまくいかない事業所もある。本講演では、ヒューマンファクターの観点からその成否を分けるものは何かについて考えてみたい。ヒューマンファクターの観点によるこれまでの事故防止の取り組みはヒューマンエラーを発生させる背後要因に着目していたが、それとともに本講演では、事故になりそうな場面でもなぜ事故を回避することができたか、あるいはどのように作業を円滑に遂行するのかというように、事態が良い方向に向かう要因に着目し、事態が良好な状態を保つにはどうすべきかということについて考えてみたい。

鳥居塚 崇

(とりいづか たかし)

日本大学生産工学部 教授

プロフィール：

横浜国立大学および産業医科大学 非常勤講師。

博士(工学)、修士(人間科学)。

認定人間工学専門家。日本人間工学会会長(理事長)。

専門は人間工学(Human Factors & Ergonomics)、安全工学、応用心理学、感性工学など。

ヒューマンファクターの視点による建設やプラントの安全管理に関する研究に従事。中災防OSHMS普及啓発検討委員会委員長、市原市石油コンビナート保安推進検討委員会委員長、仮設工業会・レジリエンス能力向上対策に関する検討委員会分科会委員長、厚労科研労働安全衛生総合研究事業(課題番号：24JA1005)コンソーシアム座長など。慶大大学院博士課程、早大大学院修士課程修了。



講師

安全とリスクマネジメント ～安全・安定操業のための 基盤強化活動～

●講演内容：製造業はモノを予定どおり顧客に届ける責任がある。そのためには、工場が安全で安定した操業を維持・継続しなければならない。しかし、設備は壊れるしヒトは間違いを犯す。一度事故・トラブルが発生すると操業が停止し顧客・周辺住民等多くのステークホルダーに迷惑が及ぶ。現場はリスクだらけである。講師は20年近くに亘って、国内外全約40工場を統括・管理するリーダーとして労働安全衛生・保安防災はじめリスクマネジメントを担当した。その間、全社横断の組織の構築・運営を行い、全社の安全・安定操業のための基盤強化を果たすことができた。今回は、その組織である「基幹技術推進委員会」活動を中心に安全とリスクマネジメント活動を紹介する。

四十物 清

(あいのん きよし)

清和肥料工業株式会社 顧問

元 花王株式会社

生産技術開発センター

基幹技術グループ グループ長

元 株式会社ダイセル

社長室 顧問



講師

プロフィール：

1957年宮城県栗原市に生まれる。1982年現花王株式会社に入社。界面活性剤等のプロセス開発研究に従事し、花王の事業拡大に貢献。1999年マレーシアの子会社に駐在し工場運営に携わり、事故・トラブルを経験し安全の重要性・難しさを体験する。2002年帰国し、その後花王グループ国内外の生産の安全・安定な操業の維持・発展のため安全・保安のみならず工場運営上不可欠な共通する基盤技術の向上とリスクマネジメントの強化を担当。2017年定年を迎え、2018年経産省「プラント内における非防爆機器の安全な使用方法に関する調査WG」委員を務め、2019年ガイドラインを公表。2019年から株式会社ダイセルでレスポンシブル・ケア活動や生産技術に関する助言・指導を行う。その間、中災防の調査研究「安全対策の費用対効果」の委員を務める(2021～23年)。2024年から現職。

講演：労働安全衛生行政の動向

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部

講演・事例紹介

デンソーにおける 安全の原点と 半世紀に及ぶ安全活動の積み上げ

●講演内容：当社は、1969年に若い仲間を失う、取り返しのつかない災害（アルミ粉塵爆発事故）を安全の原点として、その事故の記憶と教訓を後世に語り継がなければならない想いで、半世紀以上に亘り安全と真剣に向き合ってきた。その結果、現在では休業度数率が0.03（2022年度）レベルまでになり、自動車業界としてトップレベルを維持している。
半世紀積み上げてきた安全の基盤となる取り組み事例（デンソー安全コアアクション10）と、安全の原点を伝承し安全を自分事にする活動について紹介する。

自律型人材を育てる 「働きがい改革」

●講演内容：「働き方改革」で、残業は減少し休暇も増え、大企業を中心に若年層の賃上げも進んでいる。結果、少子化が進むなかでも、就業者数は増えている。しかし、多くの職場が離職に悩み、生産性にも問題があると感じている。その原因は、働く人たちの働きやすさばかりが重視され、自律型人材育成に通ずる働きがい軽視されてきたからではないか。本講演では、今求められる「働きがい改革」について、500社以上の人材育成を支援してきた知見をもとに、先進企業事例を紹介しながら基本的な考え方と進め方を解説する。

棚橋 昭

（たなはし あきら）

株式会社デンソー
安全衛生環境部
上級キャリアエキスパート
（部長級）



講師

プロフィール：

1989年に株式会社デンソーに入社し、生産技術部の材料技術部門に配属される。その後、電子・半導体製品に使用される鉛フリーはんだ材料開発や電子・半導体関係の実装開発業務に従事する。2006年に安全衛生環境部門に異動し、グローバル安全衛生環境管理室長、環境専門室長を経て、2015年に安全衛生環境部長に就任。2019年より安全衛生環境部の担当部長として、「安全の原点」伝承する取り組みを実施してきている。2025年に上級キャリアエキスパート（部長級）に就任し、現在に至る。

前川 孝雄

（まえかわ たかお）

株式会社FeelWorks
代表取締役
働きがい創造研究所 会長



講師

プロフィール：

「上司力」提唱の第一人者。

1966年兵庫県明石市生まれ。大阪公立大学、早稲田大学ビジネススクール卒業。株式会社リクルートを経て2008年に株式会社FeelWorks創業。「日本の上司を元気にする」をビジョンに研修事業と出版事業を営む。「上司力®研修」などで500社以上を支援。2017年に働きがい創造研究所設立。青山学院大学兼任講師、一般社団法人企業研究会サポーターなども兼職。著書は『人を活かす経営の新常識』『本物の「上司力」』『「働きがいあふれる」チームのつくり方』『50歳からの逆転キャリア戦略』など約40冊。

※「上司力」は株式会社FeelWorksの登録商標です。



1日目 令和7年11月26日(水)

12:30～13:00	受付
13:00～13:05	オリエンテーション
13:05～13:20	開講挨拶 中央労働災害防止協会 理事長 竹越 徹
13:20～14:50 (90分)	講演 1 『ヒューマンファクター的視点による安全対策』 日本大学生産工学部 教授 鳥居塚 崇
14:50～15:00	休憩
15:00～16:00 (60分)	情報交流① 安全衛生管理活動の現状と課題
16:00～16:10	休憩
16:10～17:40 (90分)	講演 2 『安全とリスクマネジメント～安全・安定操業のための基盤強化活動～』 清和肥料工業株式会社 顧問 四十物 清
17:40～17:50	休憩
17:50～18:20 (30分)	講演 3 労働安全衛生行政の動向 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部
18:20～18:40	チェックイン・会場移動
18:40～20:00	全体交流懇談会

2日目 令和7年11月27日(木)

7:00～	朝食
9:00～10:30 (90分)	事例紹介 『デンソーにおける安全の原点と半世紀に及ぶ安全活動の積み上げ』 株式会社デンソー 安全衛生環境部 上級キャリアエキスパート 棚橋 昭
10:30～10:40	休憩
10:40～12:10 (90分)	情報交流② 『グループ討議』
12:10～13:10	昼食 休憩
13:10～14:40 (90分)	講演 4 『自律型人材を育てる「働きがい改革」』 株式会社FeelWorks 代表取締役／働きがい創造研究所 会長 前川 孝雄
14:40～	閉講



参加要領

参加対象

経営者、総括安全衛生管理者、工場長など

受講料

資料代、11/26宿泊代(全個室)、11/26夕食、11/27朝・昼食代および消費税を含みます。

〔中災防会員・賛助会員〕 **132,660円** 〔一般〕 **147,400円**

〔中小規模事業場料金割引サービスご利用の場合〕

〔中災防会員・賛助会員〕 **92,862円** 〔一般〕 **103,180円**

【料金割引サービス利用要件】

- 参加者が、常時使用する労働者数300人未満の労災保険適用事業場に所属する場合に適用されます。
- 本割引サービスをご利用になる場合は、申込書下部のサービス利用のご記入及び添付書類の提出をお願いします。
- 参加者所属事業場ごとに提出ください。

取消料

お申込み後に参加取消しをされた場合、下記の取消料を頂戴いたします。できるだけ代理の方のご参加をお願いいたします。なお、返金振込手数料はご負担いただきます。

開講日を含め7日前～開講日前々日までのお取消し	受講料の30%
開講日前日以降のお取消し	受講料の100%

申込方法

① 下記申込先のHPアドレスからお申込みください。お申込み受付後にメールにて正式受付の連絡を、セミナー開催10日前までに受講票の送信をいたします。受講料は原則開催2週間前までにご入金ください。なお、金融機関から発行される振込受領書(明細票)を領収書に代えさせていただきます。

② 前泊(11/25(火))の宿泊をご希望の方は、ホテルに直接ご連絡の上お申込みください。その際、安全衛生トップセミナーの参加者である旨を必ずお伝えください。

※ 前泊料金はセミナー参加費と一緒に送金せず、当日直接ホテルフロントにお支払いください。

申込先

中央労働災害防止協会
教育ゼロ災推進部 業務課

〒108-0014 東京都港区芝5-35-2 安全衛生総合会館
TEL. 03-3452-6257(直通)

セミナーお申込みHPアドレス

https://www.jisha.or.jp/seminar/kyoiku/y1200_top.html



中災防 トップセミナー



クリック